

番号	形式	出版年	タイトル	著者名	内容 引用は『』
	アンケート	1994	図書館員の専門職性についての意識に関する研究	岩淵康郎；常盤繁	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館員を対象としたアンケートの結果で、設問「司書資格を国家による検定試験にする」では、15%以上の方が「わからない」と回答し、「余り必要でない」という回答も35%近くになるが、「ぜひ必要」は25%に満たなかった。 ・この結果は「職種・制度の必要度」というアンケート項目内の一部だったのだが、ぜひ必要という回答が少なかった反面、「図書館職員を独立した職種とする」「図書館職員を専門職員とする制度を設ける」の項目ではぜひ必要という回答が、それぞれ50%を超えている。結びの部分で筆者はこの結果に関して、特に私立大学の職員の場合は、図書館の職務に不安なく専念できる状況への改善を期待することが多いのではないかと述べている。
	雑誌掲載論文	1994	「JLA図書館学専門試験」の提案	河井弘志	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職団体による「図書館学専門試験」を提案し、独自の統一的な専門試験を実施し、その合格者を専門職団体の考える専門職として図書館界に送り出すことが出来れば、専門職として司書が確立されるのではないかと、具体的に試験の要点を列挙している。〔以下の引用で、一部の項目を省略〕 『……1 日本図書館協会は毎年1回、図書館学専門試験を実施する。 2 試験科目は、日本図書館協会が必要とみなす専門知識の範囲全般にわたり、受験生は全科目を一括して受験し、または数年間かけて分割受験することができる。 3 試験問題は、図書館現場、利用者、図書館学教育者の意見を総合して、司書に要求される専門知識とそのレベルを問う内容とする。 5 図書館種によって求められる専門知識の内容はかなり異なるので、どの館種にも対応できるように科目を設定し、受験生は自分の進路希望によって受験科目を自由に選択できるようにする。何年かこの試験を実施すれば、自然に館種別の専門科目群が決まってくるだろう。 7 専門職制度が定着すれば、単なる司書採用の基準としてでなく、昇格の基準にも適用されることが見込まれる。……』
	アンケート	1999	「司書試験」実施に関するアンケート集計報告書	池田剛透；小田切夕子	<ul style="list-style-type: none"> ・司書としての知識・技術の向上のために、司書の教育制度の改善・研修制度の整備とともに、試験実施の有効性を主張する声は多いが、果たして現場の図書館員は試験実施についてどのように考えているのか、実施するならどのような試験であって欲しいのか、との見地から、「司書試験」実施に関するアンケート実行委員会が、図書館員に対して行ったアンケートの結果である。 ・設問「資格試験」では、司書の技術向上のために、単位履修以外に試験を義務づけるなどして、司書資格の取得方法そのものを変えるべきであるという提案が、図書館界でしばしばなされていた。その試験内容を具体化し、一例としては、日本図書館協会が年1回実施し、図書館への就職を希望する人(学生)を対象とした試験で、この試験に合格している事が、分類法、目録法、基本的な参考業務の方法などに関して、一定のレベル以上であることを示すとした。このような試験についての賛否は、賛成51%、やや賛成31%で賛成合計81%、反対2%、やや反対4%で反対合計6%だった。 ・「資格試験」の実施機関として最も期待する機関は、国43%、日本図書館協会38%、わからない15%だった。 ・「資格試験」の受験資格として、現行の「司書資格」が必要かとの問いでは、必要51%、不要27%、わからない18%だった。
	雑誌掲載論文	2002	図書館職員の研修と専門職の形成 - 課題と展望 -	葉袋秀樹	<ul style="list-style-type: none"> ・「館種別の専門職資格試験の検討」として、近年司書の資格試験の必要性が論じられるようになってきており、法律上の資格がない場合には民間レベルで専門職資格を設けることが必要だとしている。その例として、専門図書館では専門図書館協議会によって「情報管理専門職(仮称)資格検定試験」、病院図書館では近畿病院図書室協議会と病院図書室研究会の共同事業として「病院図書館員認定資格制度」、大学図書館では、「司書試験」実施に関するアンケート実行委員会の池田・小田切によるメーリングリストを用いた、番号の「司書試験」実施に関するアンケート集計報告書」並びに、番号の「司書試験」実施に関するアンケート報告書」によって、「司書試験(資格試験または専門性評価試験)」が検討されている、という状況を述べている。